

# 日本シリーズ 2023 MVP



守備につく近本選手＝阪神タイガース広報部提供

昨年阪神タイガースは日本シリーズ2023にて、オリックス・バファローズとの熱戦を制し38年ぶりの日本一に輝いた。本一に輝いた。最高殊勲選手賞（MVP）を獲得したのは近本光司選手（29）だ。

近本選手は関西学院大学法学部の卒業生である。

る。高校の先輩の影響で関学大への入学を決意した。「本当は別の大学に入りたかった。でも関学大に入れただけでラッキーだった」と入学当初を振り返った。

入学当時、近本選手はプロ野球選手になりたいとは考えておらず、「しっかりと卒業できたらいいな」とか考えていなかった」と話した。

1年生の春学期で英語の授業の単位を落としてしまった際には勉強の大事さに気が付き、「しっかりと授業に出て単位を取ろう」と気が引き締まった。

た」と苦笑いを浮かべた。また、1年生の時にはチャペルに通い「週に1回は友達と一緒に行った」と懐かしそうに語った。

学生時代のお気に入りの店はハンクグリーンウィッチだ。関学大西宮上原キャンパスのすぐそばに店を構える。近本選手は「スタミナ焼飯は本当においしかった。今でも食べに行きたい」と絶賛した。

近本選手は関西学院大学体育会硬式野球部に4年間所属していた。途中怪我で苦しみ、2年生の秋に投手から野手に

# 近本光司選手 学生時代を深掘り

阪神タイガース

2024年3月5日 第862号



■発行■

関西学院大学新聞総部  
〒 662-0891  
西宮市上ヶ原一番町 1 番 155 号  
E-mail: [info@kgpress.jp](mailto:info@kgpress.jp)  
HP: [www.kgpress.jp](http://www.kgpress.jp)  
X: @KG shinbun

史上初、甲子園ボウル6連覇

法政大に61対21で勝利

関西学院大学体育会アメリカンフットボール部は、2023年12月17日、全日本大学アメリカンフットボール選手権大会の決勝戦「第78回甲子園ボウル」に出場した。開催場所は兵庫県西宮市の阪神甲子園球場。関西学院大学は61対21で法政大学に勝利し、日本一に輝いた。関学大の優勝回数は最多の34回となり、史上初となる6連覇を達成した。

が大きなチャンスを作るとク  
 オーターバック（QB）の星  
 野秀太選手（商学部2年）が  
 右方向に走ってタッチダウン  
 （TD）を決め、先制点を挙げ  
 げた。11分には38ヤードの長  
 い距離を駆け抜けたワイドレ  
 シーバー（WR）の五十嵐太  
 郎選手（経済学部2年）がT  
 Dを決めた。勢いに乗った関  
 学大はその後も得点を重ね  
 33対7で前半を終えた。

前半第1クォーター（Q）の8分、相手の反則で関学大

選手からパスを受けた五十嵐選手がTDに成功。関学大は

転向した。学生コーチと協力

述べた。  
(木下皓太郎)

し独自の練習メニューを考え、スラックラインやレッドコードなどのバランス系のトレーニングを取り入れた。「常根拠を持って練習メニューを考えていた」と振り返った。

近本選手は「今シーズンには怪我無く試合に出てチームに貢献していきたい」と語る。

大学を卒業した今でもスカーレットである「Master every for Service」を意識し、「自分のためだけでなく、周りのためにも尽くすことが大事だ」と



打席に立つ近本選手＝阪神夕  
イガース広報部提供

東京丸の内キャンパス  
連載スタート

「学生生活を充実させよう」  
東京丸の内キャンパスの活用法

2面

この学生に注目！  
ひなただいち  
日向大智さん



4 面

タッチダウンをねらう星野選手  
11月20日、兵庫県西宮市阪神甲子園球場、松本巨平撮影



その後も3度TDを決め、28点を追加した。その後、反則などのミスが重なり第4Qの後半には2回法政大にTDを許したが、勢いが衰えなかった関学大が61点を得点し、勝利した。5連覇中の関学大が法政大に王者の貫禄を見せる結果となった。

試合後、関学大の大村和輝監督(52)は、日本一を掴んだ一方で「いろんな基準が下がっている。プレーが全然レベル的には足りていない。そこを意識することで改善できることがあると思う。合格点はなかなか与えられない」と苦言を呈した。勝利で終わったものの、来年度への課題が残る試合となった。

海崎瑛選手(社会学部4年)は、「オフェンスがうまくいかなかったことは本当に責任を感じている。最後の最後までオフェンスで勝てた試合か」といふ、さびしい一言。



今年の春節は2月10日から17日の8日間だった。SNS話題になった。▼春節は中国圏における旧暦の正月だ。神様や先祖への参拝、豊作を祈る行事に由来している。▼春節期間中縁起を担ぐため多くのタブーが存在する。その一つとして「春節の期間中は極力泣いてはいけない」という伝えがある。新しい1年、不幸を避けることができると思われている。▼涙を流す瞬間は多かれ少なかれ誰も経験する。多くの人々は泣くことを悲観的に考える▼一方で泣くという行為は絶対悪ではないという考え方も存在する。「罪と罰」の作品で有名なロシア作家ドストエフスキーは「愛情に満ち溢れた心には、悲しみもまた多いものである」と言い残した。また

インド独立の父として知られているガンジーは「束縛があるからこそ、私は飛べるのだ。」と述べている。悲しみがあるからこそ、私は高く舞い上がるのだ。逆境があるからこそ、私は走れるのだ。涙があるからこそ、私は前に進めるのだ」と述べた。▼涙を流す行為を通じて止めようのない気持ちの渦巻きや湧き上がりを感じる。その感情こそが生きているという実感をもたせてくれる。▼日本の正月では能登半島地震やJAL機火災など数々の悲惨なニュースが相次いで報道された。1年の始まりを明るく迎えることができず涙を流した人も多いだろう。彼らに今後多くの幸せが訪れることを今は願うばかりである。

チームの弱点を指摘した。加えて海崎選手は勝利の一つの要因として、関西大会で関西大学に敗退したことを挙げた。その敗退での反省を活かし、練習時からより速く、より強い相手を意識して取り組んだことが勝利に繋がったと分析する。

星野選手は、「ブロックのどこが完全に弱い」とチームの弱点も指摘し、来年に向けて改善していく意気込みを見せた。

（石本理子・林諒太郎）

## 就職活動に「情報力」

**ブンナビ!** 2026  
文化放送就職ナビ

× 読売新聞



## 若者の可能性を広げていく

ボランティアコーディネーター

### 岡秀和さん

「人生が変化しきつかけは、大学時代のボランティアだった」と語る岡秀和さん(29)は関西学院大学社会学部の卒業生である。学生時代はゼミでボランティア活動に取り組んでいた。現在は神戸三田キャンパスのボランティアセンターで職員として学生を支援しながら、個人でもボランティア団体を運営している。

岡さんは大学卒業後、大手の塾に入社した。若者を支援したいという思いで就職を決めたが、配属先は若者と直接関わる事ができない部署であった。精神的に辛くなった岡さんは4か月で塾を退職し

た。人生最大の挫折だった。退職後、岡さんは再びボランティアに取り組んだ。「自分の人生が変化するきっかけになったのは大学時代のボランティアだった」と語った。

当時一緒にボランティア活動をした人々とは今も交流がある。関学大でのボランティアコーディネーターの仕事を紹介してくれたのも、その当時のボランティアの仲間たちであった。

岡さんは「ボランティアを通して出会った人たちが人生の支えになった」と振り返った。関学大の職員になった理由も、今度は自分が若者を支えたいと考えたからだ。



現在、岡さんは若者と共に多くのボランティア活動に取り組んでいる。岡さんは被災地で支援を行う「おたがいさまプロジェクト」で理事を務

めており、プロジェクトの参加者は7割が学生だ。

昔から若者や教育に興味があった岡さんは現在も若い世代に無限の可能性があると考えている。岡さんは「様々な団体やサークルと強く繋がりをながら活動をしていく。活動を通して若い人の可能性を広げたい」と今後の展望を語った。(岡崎亮太)

## 日進月歩 防災意識の欠如と 被災経験の有無から生まれる差

年明けを祝う元旦に大災害が日本を襲った。1月1日、石川県能登地方で最大震度7を観測する地震が発生した。多くの人が被災し、避難生活を余儀なくされている。日本は世界の中でも自然災害が多い国だ。2022年3月までの過去10年間に、復興に時間を要した自然災害の発生件数は13件である。

災害大国である日本の国民は防災に対してどのような意識を持っているのだろうか。2021年の国土交通省の「防災に関する国民意識」によると、10年前に比べて最近の2、3年は「ハザードマップや避難所・経路の確認」や住民一人ひとりの防災行動計画を立てる「マイ・タイムラインの作成」に取り組む人が増加している。自然災害の対策について「何もしていない」と回答した人についても52%から約40%へと減少している。

このことから、近年の災害の激甚化・頻発化を背景に国民の防災意識は高まっていると考えられる。一方で自然災害への対策について「何もしていない」と回答した人のうち、被災経験がある人は約41%から約24%に減少し、被災経験がない人は約55%から約44%に減少しなければならぬ。

## 124代の集大成

### グリーククラブリサイタル開催

関西学院グリーククラブは2月18日、兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール(兵庫県西宮市)で関西学院グリーククラブリサイタルを開催した。

関西学院グリーククラブが主催する定期公演の中でも年度で最後のものであり、集大成となるコンサートだ。

4年生にとつて今回のリサイタルは最後の演奏となる。124代部長の野口純弘さん(商学部4年)は「今回は僕たち124代の集大成となる、一番力を入れている演奏会だ。グリークの理念であるメ



## 学生生活を充実させよう

### 東京丸の内キャンパスの活用法

関西学院東京丸の内キャンパスは就職活動の支援や生涯学習の提供を行っている。

コロナ禍以前は1年間で2500人程が丸の内キャンパスを利用していた。しかし、就職活動の形態としてオンラインが増加したことで首都圏に足を運ぶ学生がなくなり、利用者は以前の約4分の1にまで減少した。実際、東京丸の内キャンパスを知る学生は少ないのではないだろうか。

現在、コロナ禍で主流となったオンライン選考は過渡期を迎えている。オンラインでの選考により、学生は移動することなく就職活動を行うことができる。その一方で、選考を行う企業側は学生の人柄や熱意、将来への向き合い方が見えにくいと感じている。その結果、オンライン選考は徐々に減少し、対面での選考が増加している。

関西の学生は首都圏での就職活動において厳しい競争を強いられる。東京丸の内キャンパス課長の木村勝さんは「関東と関西の学生では、就職活動の情報入手の段階から差がつくことになる。そこで、東京丸の内キャンパスが行う

での選考により、学生は移動することなく就職活動を行うことができる。その一方で、選考を行う企業側は学生の人柄や熱意、将来への向き合い方が見えにくいと感じている。その結果、オンライン選考は徐々に減少し、対面での選考が増加している。

就職活動の支援を大いに活用してほしい」と話す。

東京丸の内キャンパスの魅力は首都圏のあらゆる業界の新しい情報を入手できるところや、「学生が選ぶ就職人気ランキング」上位の企業で活躍する卒業生と話す機会を得られるところだ。

木村さんは情報提供や卒業生との繋がりを活かして活動の幅を広げ、憧れていた企業に入社する関学学生を増やしていきたいと考えている。そして、東京丸の内キャンパスを利用した卒業生が今度は後輩をサポートするというサイクル

ンタルハーモニーを体現した音楽を是非聴きにきてほしい」と意気込みを語り、リサイタル本番に臨んだ。

第1幕は客演指揮者ステイジだ。指揮は大阪音楽大学の教授であり、グリーククラブの技術指導を担う本山秀毅教授が務めた。

第2幕は男声合唱組曲「中原中也の詩から」。眞見隼史さん(文学部4年)が選曲と指揮を担当した。

第4幕がクライマックスとなり、振付けのあるBarbershopステージで会場を沸かせた。

第1幕は客演指揮者ステイジだ。指揮は大阪音楽大学の教授であり、グリーククラブの技術指導を担う本山秀毅教授が務めた。

第2幕は男声合唱組曲「中原中也の詩から」。眞見隼史さん(文学部4年)が選曲と指揮を担当した。

第4幕がクライマックスとなり、振付けのあるBarbershopステージで会場を沸かせた。

集大成となる最後の演奏を終えた野口さんは「来年の関西大会に向けて再出発してほしい」と希望を次代に託した。(林諒太郎)

Mastery for Service  
羽ばたけ、世界市民



神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか  
電気設備保全会社 畑中電気合同会社  
〒653-0834  
兵庫県神戸市長田区川西通5丁目107番地の8

ルを作り、関学大のコミュニティを拡大することを目指す。

やりたいことが見つからないと感じる学生もいるが、その原因は自分から行動していないことにある。世界で通用する人物には行動力が求められる。

木村さんは学生生活を充実させることが希望の進路に近づく一歩の方法だと考えている。関学大に向けて「自分のやりたいことを見つけるために、就職活動の際にはもちろん、1、2年生の内から積極的に東京丸の内キャンパスを活用してほしい。それが、自ら行動できる人になる第一歩になると思う」と話した。(森友紀)

関西学院の式典・チャペルアワーに  
音楽の充実をもたらす

# 宗教音楽委員会



オープンキャンパスにて演奏した関西学院ハンドベルクワイアと関西学院聖歌隊＝同団体提供

チャペルに欠かせない歌声

## 関西学院聖歌隊

宗教音楽委員会に所属する関西学院聖歌隊は今年で創設から73年を迎える歴史ある団体だ。聖歌隊は各学部のチャペルや大学の礼拝、近隣の教会で歌うほか、定期演奏会やクリスマスコンサートといった演奏会も行っている。昨年度は大阪市の大阪市立美術館で行われた第26回永眠者追悼祈念礼拝にも参加した。

サブマネージャーの竹田遥香さん（文学部1年）によると、聖歌隊は基本的に礼拝堂やチャペルで演奏をするため、普段から空間での声の響き方を意識して練習している。現在多くの隊員が所属しているわけではないが、その分各パートが互いの声をよく聴き合っておりアンサンブルに取り組めるところが聖歌隊の魅力だ。

また竹田さんは「練習でも本番でもパイオルガンの演奏に合わせて歌う経験は聖歌隊でしかできないことだと思う」と聖歌隊ならではの音楽の特色について語った。

マネージャーを務める河本理佐さん（商学部2年）は、大学に入るまで、本格的な合唱経験がなかった。「今の人数だからこそ、初心者も合唱とキリスト教音楽のいろはを丁寧に学べた」と自身の聖歌隊での経験を振り返った。聖歌隊の活動は、キリスト教主義の関西学院だからこそ

できる活動だと言える。聖歌隊はキリスト教音楽を専門としているが、隊員の全員がクリスチャンであるという訳ではなく、関学生であれば誰でも入隊することができる。

関西学院聖歌隊は合唱による奉仕を通してキリスト教主義に基づく建学の精神である「Mastery for Service」の体現を目指し、日々練習に励んでいる。現在、聖歌隊は5名で活動している。メンバー不足の中、コロナ禍で途絶えてしまった活動を復活させようと努力し

ている最中だ。また、竹田さんと河本さんは「全国の教会や学校でコンサートを行う演奏旅行の伝統を復活させたい」と意気込みを語った。今日もランバス記念礼拝堂に聖歌隊の歌声が響く。

（川田恵里花）



神学部チャペルアワーで演奏する関西学院聖歌隊＝同団体提供

## 全員で一つのメロディーを作りあげる 関西学院ハンドベルクワイア

関西学院ハンドベルクワイアは宗教音楽委員会に所属する団体だ。

ハンドベルクワイアは各学部のチャペル演奏に加え、6月と12月にはランバス記念礼拝堂でコンサートを開催している。加えて関西学院主催のイベントでの演奏やショッピングモール、教会、病院等から依頼を受け、演奏活動に取り組んでいる。

ハンドベルの演奏では両手で1本持つベルから両手で4本持つベルまで大きさが異なるベルを使用する。選曲の際は演奏者の人数に応じた音域の曲の中から自由に選び、演奏する。

2023年度部長の川西彩夏さん（社会学部3年）は「一

番達成感を感じた活動として西宮上ヶ原キャンパス図書館での演奏を挙げた。図書館から依頼を受け、B1階の吹き抜けスペースでハンドベルを演奏した。静かにしなければならぬ図書館では異例の試みであった。

図書館に本の返却や資料をコピーするために訪れた人も集まり、最終的には100人以上がハンドベルの演奏に聞き入った。川西さんは「たくさんの方にハンドベルを知ってもらえて嬉しかった」と語った。

ハンドベルは1人が1音以上を担当するため、1人でも抜けるとメロディーが成り立たない。週2回の練習では人数が揃わず、本番までの時間



ステージに並ぶハンドベル＝同団体提供

## 「顕彰の意を込めて」

### 中央講堂ラウンジリニキュアル

2023年11月19日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス中央講堂1階のエントランスラウンジが新しく生まれ変わった。机や椅子が一新されたラウンジのコンセプトは「留学生とのコミュニケーションの場」である。ラウンジは以前にも増して心地の良い空間になった。

このリニキュアルには関学大から井谷憲次氏に対する顕彰の意が込められている。井谷氏は関西学院大学に集う学

生の将来を想い、2019年8月、新しい奨学金制度を立ち上げた。「井谷憲次奨学金」は井谷氏からの寄付をもとに、関西学院大学の学部生および大学院生の国際的なチャレンジを支援し、世界市民としての学びを奨励するために設立された奨学金制度である。

このような背景を踏まえ、学校法人関西学院総務部校友課の中山悠吾さん（34）は「関学生はラウンジでの留学

生の協同学習を通じて様々な価値観に触れ、卒業後に世界市民として活躍してほしい」と語った。

関西学院大学はコロナ禍で停止していた交換留学生の受け入れを2022年9月に再開し、現在コロナ以前の賑わいを取り戻しつつある。リニキュアルしたラウンジが国際交流の機会や新しい刺激を学生らに与え、関西学院大学の国際性をより豊かにするだろう。

（保家廉太郎）

## 放置自転車・原付を撤去

「本当に必要とする学生に駐輪場を」

関西学院大学は1月26日、西宮上ヶ原キャンパス内の放置自転車・原動機付自転車を撤去した。撤去した放置車両は自転車24台と原付1台だ。駐輪場を管理する学生課が総務課を通じて業者に委託し、今回の撤去に至った。

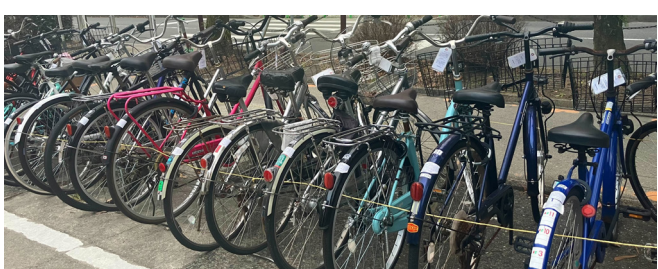
本来駐輪場は大学に通学する学生がキャンパスにいる間、自転車や原付を停めることが可能な場所である。しかし長期間放置される車両は後を絶たない。放置車両は限りある駐輪場のスペースを奪ってしまっただけでなく、盗難の対象になる。

学生課は昨年12月4日、ポータルサイト（k.w.i.c）を通じて放置車両の撤去につ

いて事前に予告した。担当業者は昨年12月中旬以降放置してある自転車に札をつけて選別し、1月10日から「破棄予告シール」の貼付を開始した。それでもなお放置してある自転車を商学部棟の前の駐輪場に集約し、盗難自転車かどうか警察の確認が済んだ後、撤去した。

電動アシスト自転車の増加や原付の新たな基準設定による種類の増加により、今後車両1台当たりが必要とする駐輪スペースは増加する可能性がある。

学生課職員は益田博さん（59）は「車両を放置すると、本当に必要な学生が駐輪場を使用できなくなる。自転車や



原付を置きつ放しにしないでほしい」と学生に注意を促した。（石黒和加奈）

この学生に  
注目!  
チューモロ

日本薬理学会年会優秀座長賞受賞

理工学研究科2年 日向大智さん

関西学院大学理工学研究科  
生命医化学専攻2年の日向大  
智さんは2023年12月、第  
97回日本薬理学会年会にて優  
秀座長賞を受賞した。

優秀座長賞とは、学会で班  
ごとに分かれて報告し合う  
際、進行役として優れた働き  
をした者に与えられる賞であ  
る。

日向さんは本学会で、  
「**嚢胞性繊維症**の治療に有効  
な「アンチセンスオリゴ」と  
呼ばれる核酸医薬を開発し、  
その効果を発表した。

嚢胞性繊維症とは、鼻水な  
どの粘液の水分量が減少する  
疾患だ。気道閉塞を引き起こ

したり、通常防御できるはず  
の細菌に感染したりし、最悪  
の場合は死に至る。

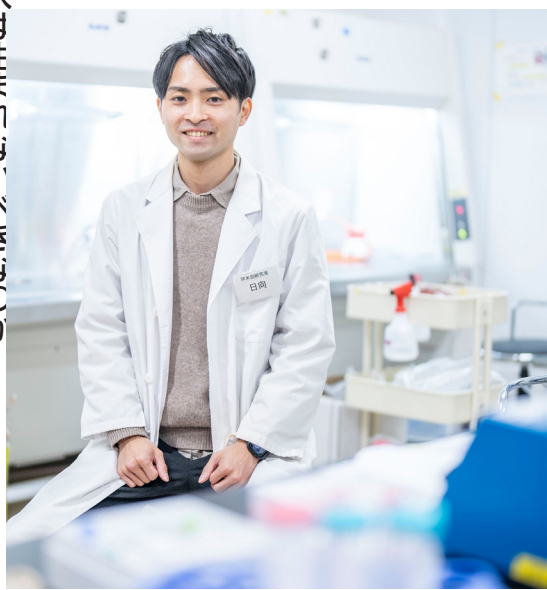
現在、嚢胞性繊維症の治療  
薬は存在するが、効き目が弱  
いことが問題だ。日向さんが  
開発した薬は嚢胞性繊維症の  
治療薬の効果を底上げするこ  
とが期待されている。

嚢胞性繊維症は粘液の水分  
量を調節するたんぱく質であ  
るCFTRが遺伝的に変異する  
ことで生じる。CFTR変  
異体が体の機能により分解さ  
れた結果、粘液の水分量を調  
節することができなくなる仕  
組みだ。

日向さんが開発した核酸医

薬「アンチセンスオリゴ」は  
CFTR変異体の分解を防ぐ  
ことができる。

日向さんは薬の勉強をしな  
がら何か生活の役に立つこと  
がしたいと思い、この研究を  
始めた。「みんなが知らない  
ことを明らかにしていくこと  
にロマンがある」と研究の魅  
力を語った。（林諒太郎）



人は生まれないべきなのか

反出生主義研究会

「反出生主義研究会」は、生きない方が  
いいということにもならな  
い」と主張した。

神学部

濱崎雅孝先生

に出会った。その学生は「今  
にも死んでしまうのではない  
か」と心配するほどの精神状  
態だった。この学生との出会  
いを機に、濱崎先生は学生が  
深刻な問題を自分の頭で考  
え、克服することができると  
きつけを作りたいと考え、  
研究会の結成に至った。

濱崎先生は反出生主義研究  
会を主催しているものの、反  
出生主義的な思想に批判的な  
考えを持つている。濱崎先生  
は「傷の舐め合いのような会  
にはしたくない」と述べた。  
辛いことがあったとき、反出  
生主義的な悲観的な気分にな

るのには当然だが、大事なこ  
とはその状態からいかに脱出  
するか」と心配するほどの精神状  
態だった。この学生との出会  
いを機に、濱崎先生は学生が  
深刻な問題を自分の頭で考  
え、克服することができると  
きつけを作りたいと考え、  
研究会の結成に至った。

濱崎先生はカミュの言  
葉を参考にして「人生に  
苦しみがあるから人生に  
意味がないということに



校歌制定90周年

《空の翼》 展開催

関西学院大学博物館は2月  
19日から4月20日までの2か  
月間、平常展「校歌制定90周  
年《空の翼》展」特集陳列「井  
原西鶴没後330年記念 関  
西学院大学図書館蔵西鶴貴  
重本展」の2つの展覧会を開  
催している。

今回の展覧会は関西学院  
の校歌である「空の翼」が  
2023年度で制定から90周  
年を迎えたことを記念して開  
催に至った。展覧会では、「空  
の翼」の制作過程を関連資料  
とともに展示している。また、  
併せて井原西鶴の作品も数点  
展示している。特集陳列は前

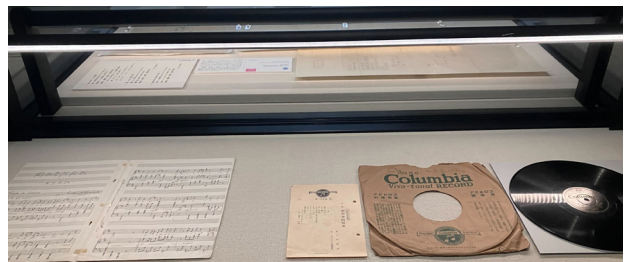
期と後期に分かれており、展  
示替えも行う予定だ。

展示の目玉となるのは「空  
の翼」の作詞者である北原白  
秋の自筆原稿と作曲者である  
山田耕柝の自筆譜だ。これら  
はどちらも実際に「空の翼」  
の制作過程で用いられたもの  
であり、展覧会に訪れた観客  
はその当時に思いを巡らすこ  
とができる。

展示室内には当時の関西学  
院大学の時計台にタイムス  
リップをしたかのような写真  
を撮影することが出来る撮影  
スポットも併せて設置してい  
る。

展覧会を開催した目的とし  
て、関西学院大学博物館で学  
芸アシスタントを務める深谷  
佳那さん（26）は、「関西学  
院大学の学生に『空の翼』を  
身近に感じてほしい、歌つた  
り聞いたりする機会をもっと  
与えたい」と語った。この言  
葉の背景として、「空の翼」  
の校歌制定には、関西学院大  
学の自治組織である学生会が  
深く関わっていたことがあ  
る。

当時の学生が制定した校歌  
「空の翼」は、今回の展覧会  
で学生たちにより身近なもの  
となっていく。（宝本拓夢）



展示されている山田耕柝の自  
筆譜と「空の翼」レコード  
2月21日、関西学院大学博物  
館関西学院大学学院史編纂  
室、宝本拓夢撮影

新たな交友深めるきっかけに

クリスマス会開催

関西学院大学生協学生委員  
会は2023年12月4日に食  
堂「BIG PAPA」にて、  
学生同士の交流を目的とした  
クリスマス会を開催した。

参加者は生協学生委員会の  
委員を含め120名で、大規  
模なイベントであった。参加  
者は学部ごとに分かれ、クリ  
スマスツリーの点灯式やバイ  
キング形式の食事を共に楽し  
んだ。

クリスマス会の企画を主催  
した島田大誠さん（文学部2  
年）は「クリスマス会は生協  
学生委員会として初の試み  
だった」と語った。

生協学生委員  
会は、学生から  
の「大学で友達  
ができない」と  
いう声を受け、  
同じ学部の友達  
を作るきっかけ  
としてこのイベ  
ントを発案し  
た。

島田さんはイ  
ベント当日に至  
るまでの活動を  
振り返り「企画  
を準備する時間  
が非常にタイト  
だった」と苦笑



用意された食事を取る参加者たち＝12月4日、関西学  
院大学西宮上ヶ原キャンパス食堂「BIG PAPA」、山本麻  
衣子撮影

いた。  
参加者はそれぞれの班で思  
い思いに会話し、新たな交流  
を築いていた。参加者の大西  
美来さん（経済学部2年）は  
「普段大学にいても、人と話  
す機会が少ないため、友達を  
作るきっかけができて良かった」と話した。同じ班に上級  
生がいたことに対しても貴重  
な経験だったと笑顔を浮かべ  
た。

また、生協学生委員会に所  
属する土屋祐里さん（教育学  
部1年）は、「他学年の人と  
も交流できて良かった。とて  
も充実した時間が過ぎた。  
これからもみんなが笑顔にな  
るような企画を実施してい  
きたい」と自らが開催したイ  
ベントに手応えを感じている様  
子だった。（山本麻衣子）

# 一般入試始まる

総志願者数は5万1千人越え

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスで2月1日、一般入試が始まった。今年は1978年以来の高水準となる51097人が受験した。倍率は昨年度より2.5倍上昇し、志願者数は4年連続の増加となった。

近年、関学大は受験生に選ばれる大学を目指し、学生ファーストの入試制度への改革を進めている。今年は共通テストと一般入試を組み合わせた型の募集人数を増やすなど、併用出願しやすい形式に変更した。来年度から新課程入試が始まるため、受験生が浪人を避ける傾向があるからだ。新課程入試では、共通テストに情報科目が追加されるなど、受験生の勉強量が増加する。

さらに、2月5日には英数日程を実施する。従来の制度より数学が得意な学生が合格しやすくなったこの受験型を



試験会場の様子 2月1日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、松本亘平撮影

試験会場に足を運ぶ受験生たち 2月1日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、松本亘平撮影



導入することで、多様な受験生を獲得するのがねらいだ。

関学大は令和6年能登半島地震で被災した学生に対して受験料を免除した。中村洋右入試課長(48)は、「自分は阪神淡路大震災が発生した1995年に西宮上ヶ原キャンパスで入試を受けた。何か支援できればという思いが強かった」と語った。

法学部と文学部を受験する女子高校生(18)は、憧れの先輩が関学大に進学したことから受験を決めた。「不安はあるがとりあえず頑張りたい」と緊張した面持ちで語った。

受験生の上園芽生さん(18)は将来マーケティング関係の仕事に就きたいと考えていることから商学部を受験することを決めた。「緊張はしているが落ちに來たわけではない。しっかり合格をつかみ取りたい」と力強く話した。(石本理子)

## 「酒粕」とフェアートレード

地球に優しいチョコテリーヌ

甘さ控えめのチョコテリーヌは、日本酒の香りが口いっぱいに広がる。

レストランポプラは1月25日、関西学院会館内の店舗にて関西学院大学商学部の石淵純也ゼミと共同開発した「濃厚シヨコラとドライフルーツのテリーヌ」のテイクアウト商品の販売を開始した。販売価格は税込み3500円だ。

株式会社カフエ飲食事業部の西岡新さん(50)は「この商品は社会貢献を目指したものだ」と語った。

「濃厚シヨコラとドライフルーツのテリーヌ」には酒粕を使用している。酒粕はビタミンを豊富に含んだ栄養満点の食品であるが、通常は日本酒を作る過程で産業廃棄物として捨てられてしまう。レストランポプラと石淵ゼミの学生は酒粕を食材として利用することで、SDGsに配慮した商品作りを目指した。

またテリーヌに使用しているチョコレートはフェアートレードの商品だ。カカオの生産者に適切な賃金が支払われるフェアトレードの商品を利用することで、発展途上国の経済発展に貢献している。

石淵ゼミの学生らは商品開発について研究している。学生らはテリーヌの発売に向け、テリーヌ本体だけでなく、皿や付け合わせの菓子に至るまで徹底的に話し合った。テイクアウト販売用の箱にもこだわった。金色の関学の

校章を刻印している箱は、テリーヌを食べたあとも再利用できる仕上がりになっている。

西岡さんは「SDGsに限らず、これからも学生が考える面白いことを取り入れていきたい」と今後の関学生との共同開発に意欲的な姿勢を見せた。

レストランポプラは「濃厚シヨコラとドライフルーツのテリーヌ」のメニューを2月1日から税込み700円で提供している。

店内で提供しているメニューは1本丸ごと販売しているテイクアウト商品とは違い、一切れのテリーヌに塩ミルカイイスと小麦粉でできたフランス菓子のチュールを添えたものだ。

関学生考案の絶品テリーヌ。ぜひ足を運んで見て欲しい。(山本麻衣子)

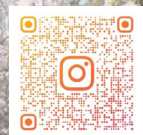


石淵ゼミの学生が考案したチョコテリーヌ 1月26日、関西学院大学新聞総務部室、山本麻衣子撮影

## 新入生の皆さん

## ご入学おめでとうございます

関西学院大学新聞総部



Instagram



X



HP



LINE

# 犠牲者を悼んで 阪神淡路大震災から29年

関西学院大学は1月17日、西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂で阪神淡路大震災記念礼拝を開催した。礼拝では29年前震災で犠牲になった関学大の教員8名と学生15名を追悼した。学生だけでなく、地元住民など世代を問わず多くの人が参加した。神田健次名誉教授（75）は「希望に生きる」と題して震災当時の生活や学生の様子を振り返った。阪神淡路大震災後、多くの関学大生が積極的にボランティアに参加したことについて「学生たちはスクールモットーを守るためではなく、何かしなければという思いからボランティアに参加した」と力強く語った。

また、神田名誉教授は1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、地震発生直後、被災地が個人のボランティアの受け入れを行わなかったことに触れた。「ボランティア志願者が多くてうまく運営できなかった阪神淡路大震災の反省点が活かされていると思う」と話した。黙とうの際には関西学院ハインドベルクワイアに所属する久戸瀬帆南さん（文学部2年）が15回鐘を鳴らした。

ピアノ演奏のサポートをするために参加した岡元麻奈さん（神学研究科2年）は「当時の学生の活動を知り、勉強になった。能登半島地震の被災者に思いを馳せながら生活していきたい」と語った。（石本理子）



神戸市と関西学院は2023年12月22日、神戸市灘区の王子公園への新キャンパス設置にむけて、基本協定を結んだ。関西学院は2029年、2031年の開学を目指している。1929年にメインキャンパスを原田の森（現在の王子公園周辺）から西宮市上ヶ原へ移転してから、100年ぶりに再び「発祥の地」に拠点を構えることとなる。

関西学院は、創立150周年を迎える2039年を見据えた長期ビジョンと長期戦略からなる「Kwansei Grand Challenge」だ。新キャンパスの全体コンセプトは、「自分で、みんなで、未来を起動するオープンインベシジョン」だ。

関西学院は日々変貌を遂げる社会を見据え、課題解決に焦点をあてた文理融合かつ学際的な学び、国際都市神戸にふさわしい国際性、多様性に重きを置く。加えて最先端のデジタル技術を駆使し、既存キャンパスとの連携を構築する。また、地域との交流を軸に、王子公園と一体となった開かれたキャンパスを目指す方針だ。

関西学院大学広報室企画広報課の中谷良規さん（46）は、「関西学院大学がよりよい発展を続けていくために検討を重ねている。国際性・産官学民の連携・デジタルという関学の強みと新たな概念を融合し、地域・社会・世界がリアルにつながる場にしていきたい」と話す。

キャンパス設置に周辺住民から根強い反対の声がある一方で、「応援する」、「活気あふれる町になるので大歓迎だ」という声も集まっている。中谷さんは「様々な声に向き合い、寄せられた声は学内で共有するようにしている。構想の具体化はまだ先かもしれないが、温かく見守ってほしい」と述べた。（越智優介）



乾杯をする参加者 11月17日、大阪市ホテル阪急レスパイア大阪、木下皓太郎撮影

## 関西学院同窓会本部企画委員会

### アラKWA N同窓の集い 開催

関西学院同窓会本部企画委員会は2月17日、大阪市のホテル阪急レスパイア大阪にて「アラKWA N同窓の集い」を開催した。

今回の開催にあたり同企画委員会は事前にアンケートをとり、参加者をスポーツや映画鑑賞、旅行など共通の趣味を持つグループに振り分けた。京藤さんは「学生の時のように好きな趣味でつながってほしい」と話した。

イベントに登壇した楠さんは「高齡化社会のニーズに対応していきたい」と今後のイベントの企画に意欲を見せた。（木下皓太郎）



今回のイベントは55歳から65歳までの関学卒業生を対象にしており、計38名の同窓生が参加した。1981年に経済学部を卒業後アナウンサーとして活躍した楠淳生さん（66）による講演や食事を交えた交流会などで会場は和やかな雰囲気包まれた。

イベントは2023年に引き続き2回目の開催となった。

次回開催について同企画委員会は65歳以上を対象としたイベントも考えている。企画

委員の中西裕美さん（60）は「高齡化社会のニーズに対応していきたい」と今後のイベントの企画に意欲を見せた。（木下皓太郎）

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。

SANDA AUTOMOBIL SCHOOL  
**SAS**  
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

**三田自動車学院**

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP  
QRコード